



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：腎臓内科 小西 加純

【研究責任者】

聖路加国際病院 腎臓内科 小西 加純／藤丸 拓也

当院に末期腎不全で入院した方を対象とした透析を中止した場合のその後の経過について

1. 研究の対象

当院に2004年4月～2023年12月までに末期腎不全で入院した患者さん

2. 研究の目的・方法

現在透析患者さんが透析を中止した場合、透析を中止してから死亡まで約7-10日といわれていますが、透析を中止した後、予後を推定する因子によってその後の予後がどう変化するかを調べた研究はありません。医学的理由で透析の継続が困難となった方や自分の意思で透析を中止した患者さんの予後やリスク因子を明らかにすることで、患者さん自身や家族へ正確な予後の推定が可能になると考えております。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2029年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年3月25日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は下記となります。

《情報》カルテ番号、年齢、性別、身長、体重、病歴、血液検査結果、尿検査結果、透析期間等